

## 法医学講座

### 研修プログラムの概要と特徴

法医実務（解剖・検案）を通して、医学・医療に関わる法的諸問題を理解する。また、実際に死体検案に携わり死体検案書作成を通して、死後の取り扱いについて理解する。

### 研修実施責任者と指導者

研修実施責任者	法医学講座	教授	西谷陽子
研修指導者	法医学講座	教授	西谷陽子
		助教	笹尾亜子
		助教	堤博志
		特任助教	古川翔太

### 定員

1 研修期間当たり 1 名程度

### 研修期間

1 ヶ月～3 ヶ月

### 研修の到達目標

- 1) 卒前教育において習得した法医学の基本に加えて、異状死体の検死・検案や法医解剖に関する知識をさらに充実する。
- 2) 異状死、特に医療現場における急死などの病態を正確に認識し、かつこれについての確かな法医学的な判断ができる。
- 3) 死体検案を行い、所見に基づいて死因を判断し、正しく死体検案書を作成できる。
- 4) 症例報告のまとめ（学会発表・専門雑誌投稿）により、自己学習の習慣を身につける。
- 5) 社会における法医学の貢献について説明できる

### 研修の概略

- 1) 法医解剖（司法解剖・行政（承諾）解剖・新法解剖）に補助執刀者として参加。研修後半では、実際に基本的な死体所見を一人で判断できるようにする。  
※現在、法医解剖は週に1～3事例程度実施されている（1ヵ月あたり10事例前後）
- 2) 法医解剖後の各種検査（GC-MSを用いた薬毒物検査など）の実施補助  
※病死は、検案事例の2/3程度、法医解剖の1/4程度を占める
- 3) 症例検討と検討会のプレゼンテーション
- 4) 特定の研究テーマに沿った法医学に関する基礎研究

### 教室内行事

- 教室会（月1回）
- 抄読会（月2回）
- 症例検討会（月2回）

### その他行事

- 日本法医学会学術全国集会（6月頃）
- 日本法医学会九州地方集会（10月頃）
- 法医病理研究会、法医病理セミナー（6月頃および秋ごろ）

### 評価方法

指導者が随時点検し研修医の到達目標の達成を援助する。  
修了時には自己評価結果は卒後臨床研修管理委員会の点検を受ける。

### 連絡先

熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座（教授）西谷 陽子  
〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1  
電話（096）373-5124  
Eメール n-yoko@kumamoto-u.ac.jp